

令和7年度 園内自己評価書

令和8年3月17日
真庭市立月田保育園
園長 藤田清美

1. 真庭市立月田保育園の教育保育目標

○保育目標

『心豊かで、人と楽しくかかわりながら、主体的にたくましく生活する子どもの育成』

- ・素直で思いやりのある子ども
- ・元気でのびのびと明るい子ども
- ・自分の考えをもち、たくましく創造性のある子ども
- ・最後まで頑張る子ども

2. 本年度の重点目標

○子どもの主体的な活動や友達との関わりを大切にしながら、様々な体験活動を通して豊かな感性、表現力、創造性を育む。

- ・一人一人の思いを受け止め、寄り添いながら、子ども主体にそして友達との関わりを大切に興味や関心を広げ、豊かな感性、表現力、創造性を育むことができるようする。

○職員の資質向上

- ・専門性を高め、共通理解しながら、子どもの成長・発達に合わせた手立てや配慮をする。

○小学校や地域との連携

- ・小学校との交流を通して、安心して就学を迎えることができるようにする。
- ・他園との交流を通して、同年齢の子ども同士で集団活動の経験ができるようにする。

○安心安全な給食の提供及び食育活動の実践

- ・栽培活動を通して、食への興味や関心を高める。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
保育教育課程・指導計画	園の目標や全体的な計画に基づき、指導計画を立て、園や地域の特色を活かしながら取り組んだ。	4
行 事	園、地域共に季節を感じる行事を大切にし、開催方法や内容を検討しながら、実施した。	4
組織・運営	意思疎通を図り協力して運営した。打ち合わせ等時間がとりにくい現状があるが工夫しながらすすめている。	3
学級経営	子ども一人一人を大切に受け止め、丁寧に関わり信頼関係の中で子ども主体の保育をした。	4
特別支援教育	家庭や関係機関と情報交換や共通理解をもち、連携を図った。引き続き切れ目のない支援をしていく。	3
安全管理・保健指導	毎月安全点検・避難訓練・交通指導、年1回不審者訓練・災害訓練を実施し、園児は関係機関からの指導も受け防災意識が高まった。	4
研修（資質向上）	積極的に研修会に参加し、情報収集や知識を深めた。園内でも知識習得のために研修を行い、資質向上に努めた。	4
情報提供・保護者・地域との連携	日々の保育活動をコドモンで保護者に分かりやすく伝えている。個人懇談や送迎時のやりとりで保護者の方と連携を図っている。地域とは、月田地域ならではの行事に積極的に参加する経験を通して、好奇心や探究心を育てている。	4
小学校との接続・連携	交流会や保小会議の中で、就学に向けての情報共有ができた。交流会のねらい、内容についてより検討し合い実施していく。	3
子育て支援	保護者が安心して話ができるように対応し、子どもの育ちを共有した。子どもの健全育成、保護者との良好な関係を継続していく。支援の必要な子どもについて、関係機関との連携を取り入れながら対応している。	4
食育の推進（給食）	野菜を育て、収穫した食材を献立に取り入れることで、食への興味が広がり楽しみに食べることができた。箸の持ち方や食事の姿勢、マナーについて各年齢に応じて指導したり、栄養士からの食育指導を受けたりした。安心安全でおいしい給食を提供できるように細心の注意を	4

	払い給食提供をした。	
食事の提供（調理）	給食調理が衛生的かつ安全に行われるように、食中毒や感染症の予防に努めた。子どもの年齢や個人差を考慮し、保育者と連携を取りながら提供できた。	4

4. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

- ・一人一人に寄り添い、自分らしさが発揮できるように援助や配慮をして丁寧な保育をした。
- ・3歳以上児クラスと3歳未満児クラスの2クラス編成の中、子どもの興味や関心を大切に、子どもの成長に寄り添いながら、人的・物的環境を整え年齢に応じた保育環境や子どもが主体的に活動に取り組むことができるようにした。配慮や援助が必要な子どもについては、具体的な援助について関係機関と連携をとりながら研修を重ね、家庭とも連携を図り職員の共通理解のもと園全体で見守るようにした。
- ・職員全員が園外の様々な研修に参加できるようにし、新しい情報や他園の保育環境を吸収し、日々の保育に生かせるようにした。さらに専門性を高め、質の向上に努め研鑽を深めていきたい。合同引き渡し訓練や不審者訓練等、職員で共通理解して実施訓練を行った。今後も職員の危機管理を高めていきたい。
- ・個人懇談を設け、家庭での様子や子育ての相談、就学に向けて等話し合うことができた。今後も園の様子を丁寧に伝えたり、情報発信を行ったりして、園の活動や子どもの育ちを届けていきたい。
- ・小学校との合同運動会や交流会等を通して、小学校と園との交流をもつことができた。就学前の小学校との接続の視点から、連絡会や運営協議会、小学校職員の園訪問の中で情報共有を行った。
- ・地域交流では、様々な団体との交流会に立案や検討を重ね実施し、地域の良さや温かさを感じられる活動体験を行うことができた。
- ・園庭で野菜を栽培し、収穫した食材を給食に入れてもらうことでより身近に感じ、苦手な物でも食べられるようになり食への意欲が高まっている。栄養士による食育指導も行い、より関心をもっている。調理員も健康状態や調理場の衛生管理に十分注意し給食提供ができた。

5. 評価結果を受けての具体的改善方策等

- ・園評価保護者アンケートから、「園が楽しい」「園の様子がよくわかる」「職員に気軽に相談できる」など肯定的な評価が高かった。今後も子どもが主体的に活動に取り組むことができるよう、園内外の研修や保育の振り返り等で課題を見つけ、いろいろな角度からとらえたり考えたり学びの共有を図り、より安心、安全で豊かな経験ができるように共通理解し、保育していきたい。
- ・保護者や地域の方々の温かい見守りに感謝している。皆さんのお力をお借りしながら子ども達の生活や経験の充実に向け、これからも月田の伝統や地域性、つながりを大事にしていきたい。
- ・今後さらに小学校との交流や連絡会、職員同士の交流等、保護者も子ども達も安心して就学が迎えられるように、スムーズな接続に向け取り組んでいく。
- ・安心安全な給食提供に努め、今後も野菜の栽培活動を通して食への意欲や興味、関心を高められるようにしていきたい。

評 価	基 準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である